

新春フォーラム 2020

開催日

2020年 **1月10日** (金)
14:00~17:10 (受付開始13:30)

会場

ステーションコンファレンス東京
<http://www.tstc.jp/tokyo/access.html>
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5階
JR東京駅日本橋口直結
新幹線日本橋口改札徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分
東京メトロ東西線大手町駅B7出口直結



基調講演 14:15~15:45 (90分)

人類が初めて見た 巨大ブラックホールの姿 ~歴史的快挙を達成したプロジェクトの舞台裏~

国立天文台 教授
水沢VLBI観測所 所長

本間 希樹 (ほんま まれき) 氏

特別講演 16:00~17:10 (70分)

「男性の生きづらさ」から考える 性別にとらわれない多様な生き方

大正大学心理社会学部 准教授

田中 俊之 (たなか としゆき) 氏



問い合わせ先 ユニシス研究会関東支部事務局 TEL: 03-5546-7366 juua-info@unisys.co.jp

申込URL <http://www.yuni-ken.gr.jp/>

2019年11月下旬より申込受付開始予定。web、メルマガでご案内いたします。

13:30

受付開始

14:00~14:15
オープニング

ご挨拶 並びに ユニシス研究会 関東支部 活動報告

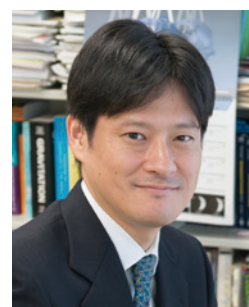
14:15~15:45
基調講演 (90分)

人類が初めて見た 巨大ブラックホールの姿 ～歴史的快挙を達成したプロジェクトの舞台裏～

国立天文台 教授
水沢VLBI観測所 所長 本間 希樹 (ほんま まれき) 氏

2019年4月、人類が初めて捉えたブラックホールの写真が公開されて大きなニュースになりました。この写真撮影に成功したのが、世界で200名を超えるメンバーが国際協力で推進する「イベント・ホライズン・テレスコープ」プロジェクトです。

同プロジェクトの中で日本側代表を務める講師が、このプロジェクトのこれまでの進展や発表されたブラックホールの写真の意味、更には今後の展望について分かりやすく解説します。



<プロフィール>

1994年(平成6年) 東京大学理学部天文学科卒業

1999年(平成11年) 同大学院博士課程修了

同年国立天文台COE研究員

その後、助教、准教授を経て、2015年(平成27年)より国立天文台教授、水沢VLBI観測所所長を兼務。

専門は超長基線電波干渉計(VLBI)を用いた電波天文学で、国立天文台のVERAを用いた銀河系構造の研究や国際共同プロジェクトであるイベント・ホライズン・テレスコープを用いた巨大ブラックホールの研究等を行っている。

15:45~16:00

休憩

16:00~17:10
特別講演 (70分)

「男性の生きづらさ」から考える 性別にとらわれない多様な生き方

大正大学心理社会学部 准教授 田中 俊之 (たなか としゆき) 氏

「男は強くなくてはいけない」男性は世間が抱く「男らしさ」の価値観に
もがき、男性だからこそその悩みを抱えています。

男性が働くことの意味や男性が抱える悩みなど、「男性学」の視点から、
ストレス社会の中で、性別にとらわれず自分らしく生きるためにはどう
したら良いか、ともに考えていきます。



<プロフィール>

1975年東京都生まれ

1994年都立武蔵高等学校卒業

1999年武蔵大学人文学部社会学科卒業

2001年武蔵大学大学院人文科学研究科社会学専攻博士前期課程修了

2004年武蔵大学大学院人文科学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得満期退学

2008年博士(社会学)取得

2013年学習院大学「身体表象文化学」プロジェクトPD研究員、武蔵大学・学習院大学・東京女子大学等非常勤講師を経て、武蔵大学社会学部助教

2017年大正大学心理社会学部准教授